

ENIGMA Semi-Full SF2510 Z125 Proの取り付け接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA Semi-Full SF2510 / SF2510RTF

対応車両 KAWASAKI Z125Pro

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA のカプラーと接続してください。ENIGMA 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう、固定してください。(配線接続作業は一切ありません)作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的な対応車両の整備知識が必要です。

サービスマニュアルに従って ECU と配線が作業できるようにシートを取り外してください。

ノーマル車両のシートを取り外すとシート下に ECU がゴムで取り付けられています。

ECU に繋がっている 3 4 ピンカプラーに、配線を加工して ENIGMA Semi-Full を割り込みさせて下さい。

ENIGMA Semi-Full は近くに取り付けてください。

バラ線タイプの ENIGMA Semi-Full の場合、カプラー側の配線に ENIGMA Semi-Full 配線の多くを割り込み接続します。

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA Semi-Full の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的に ENIGMA Semi-Full から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
ENIGMA Semi-Full から接続する配線は全部で 13 本です。

ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。

使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

白線はピットレーンリミッタスイッチ用なので ECU には繋ぎません。

使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

薄緑線はマップ切替スイッチ用なので ECU には繋ぎません。

使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

※ ECU の 1 番端子 (黒) へ接続されている線を切断して、ENIGMA Semi-Full からの配線で、バイク車体側に黒線を接続、ECU 側に緑／黒線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※ ECU の 20 番端子 (青／赤) へ接続されている線を切断して、ENIGMA Semi-Full からの配線で、バイク車体側に青／緑線を接続、ECU 側に青／白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

※ 19 番端子は灰線ですが、ENIGMA Semi-Full の灰／緑線と接続してください。

※ 22 番端子は黒線ですが、ENIGMA Semi-Full の黒／白線と接続してください。

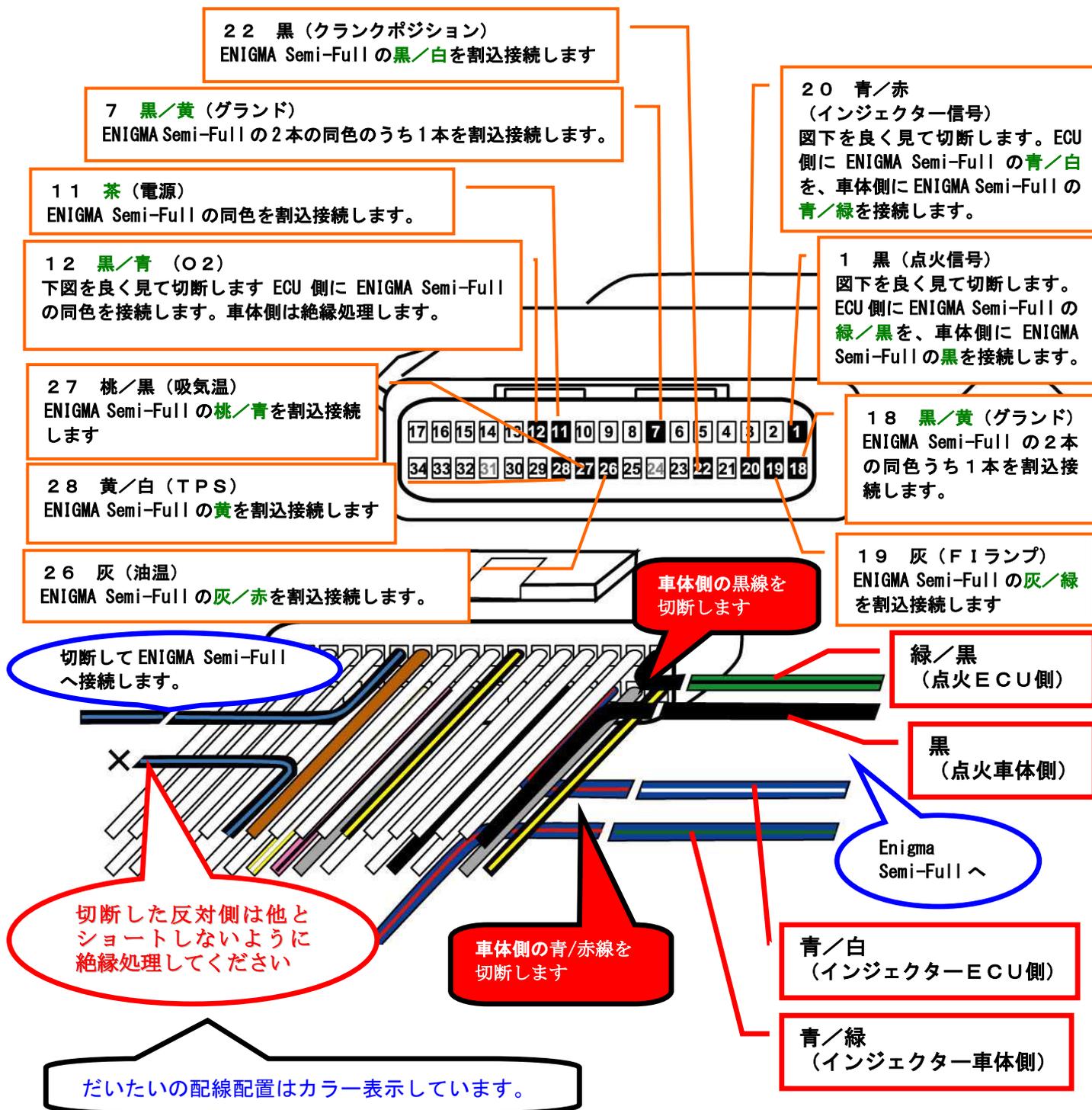
※ 26 番端子は灰線ですが、ENIGMA Semi-Full の灰／赤線と接続してください。

※ 27 番端子は桃／黒線ですが、ENIGMA Semi-Full の桃／青線と接続してください。

※ 28 番端子は黄／白線ですが、ENIGMA Semi-Full の黄線と接続してください。

- ※ 7番端子と18番端子はどちらも黒／黄線です、ENIGMA Semi-Fullからも黄／黒線は2本出ていますので、それぞれにどちらかを接続してください。
- ※ O2センサーへ接続するECUの12番端子(黒／青)線は、切断してECU側とENIGMA Sei-Fullを接続してください。切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。O2センサーを取り外す場合、別売のブラインドカプラーセットが必要です。O2リプレイサー機能を使用しない場合は、バイクの配線を切断せず、ENIGMA Semi-Fullから出ている黒／青線を絶縁処理してください。
- ※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。
- ※ 配線ミスなどで、ECUにエラーが発生した場合、KAWASAKIの販売店や当社別売のDDCSなどでエラーを消去する必要があります。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



■ ECU端子で繋ぐのは1、7、11、12、18、19、20、22、26、27、28の11箇所です。上図で良くご確認ください。

■ ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA Semi-Full はクランク1回転に1回/クランク2回転に1回 (ソフトにて切り替え可能)、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■ PC用ソフトは機種専用 ENIGMA Semi-Full Z125Pro 用ソフトをお使いください。他のバイク用ソフトや ENIGMA の他シリーズ用ソフトはご利用になれません。

- iOS用アプリ、Androidアプリは **ENIGMA Semi-Full 専用アプリ**をお使いください。
ENIGMA Semi-Full 専用アプリは、アプリ内で Z125Pro 専用バイクモデルを購入することにより Z125Pro 用 ENIGMA Semi-Full で使用することができます。
他のバイク専用のバイクモデルや ENIGMA の他シリーズ用のアプリは使用できません。
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。
<http://www.dilts-japan.com>

ピットインリミッタースイッチの設置

ENIGMA Semi-Full から出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。ピットインリミッターは外部スイッチONの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されてるお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。
 (ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)
 スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です
 押ししている時だけONになる物は適しません。ご注意ください。

設置が終わったら ENIGMA Semi-Full の白線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子が有りますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※ **もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違っ**てプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

- **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**
- ※ **Z125 はエンジンが停止中は FI ランプはエラーが無くても点灯しています。エンジンが始動すると、通常 FI ランプは消灯します。**
 ENIGMA Semi-Full 接続後アクセル全開でイグニッションキーONすると ENIGMA Semi-Full は通信状態となり、この状態を視覚的に確認するために FI ランプを点滅させますが、エンジンが始動するまでは、FI ランプは点灯したままとなります。この状況でも通信は可能です。エンジンが始動すると、通信状態中は FI ランプが EASY モード中は2回／PROモード中は3回点滅します。
 アクセルオフでイグニッションキーONのときは ENIGMA Semi-Full は通信しない状態となり、エンジンが始動すると FI ランプは通常通り消灯します。この状態でも ENIGMA Semi-Full の燃料調整機能やリミッター機能は働いていますので、セッティングなどを行わないときは、アクセルオフのイグニッションキーONでお使いください。
- ※ **Z125 用 ENIGMA Semi-Full を取り付けるとノーマル ECU が持っている 11,000 回転の点火リミッターをキャンセルします。PC やスマホで、ENIGMA Semi-Full のリミッターを 11,000 回転以上に設定して、11,000 回転以上エンジンを回すと、ノーマル ECU が点火異常のエラーを検出し FI ランプが点灯します。エラーは検出されるだけで、ECU は非常モードに入ることはありません。FI ランプを消すにはその都度、KAWASAKI の販売店や当社別売の DDCS にてエラーを消去する必要があります。エラーを発生させたくない方は、ENIGMA Semi-Full のリミッター設定を 11,000 回転以下にして下さい。**
- ※ Z125 用 ENIGMA Semi-Full はリプレイサー機能を持っていますが、アイドル調整機能がありません。このため ENIGMA Semi-Full 操作用 PC ソフトの REPLACER 設定、スマートフォン用アプリの ENIGMA 設定画面でアイドル調整部分は表示されません。

マップ切替スイッチの設置

ENIGMA Semi-Full から出ている「薄緑線」はマップ切り替えスイッチ設置の為の配線です。

ENIGMA Semi-Full 内部には2つのマップを保持することができます。

マップ切り替えスイッチでこの2つのマップを瞬時に切り替える事ができます。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。

押している時だけONになる物は適しません。ご注意ください。

設置が終わったら ENIGMA Semi-Full の薄緑線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子がありますので片方に薄緑線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違ってもプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でマップ切り替えスイッチの設置は終了です。

マップ切り替えを有効にして2つのマップを使用するには、PCソフトやスマホアプリで設定が必要です。

- マップ切り替え用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。
- マップ切り替えをする場合には、不意に切り替わった場合のエンジントラブルを避けるため、始動前に必ず両方のマップにデータを転送してください。